

としよかん

宇都宮市立図書館

宇都宮市立東図書館

宇 都 宮 市

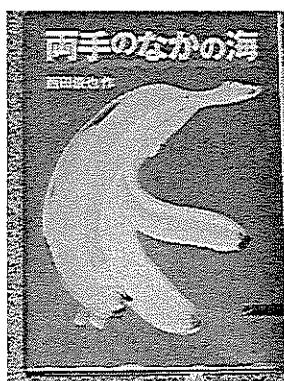
ヤングアダルト向け 本とは？

「Young Adult」(略してYA)とは、直訳すると「若い大人」。つまり、中・高生を含む10代を中心とした年代のことです。この年代で出会って欲しい本のことをさします。もちろん、10代の心を持つ方が読まれるのも大歓迎

《表紙・裏表紙が意味深な本》

「両手のなかの海」 西田俊也著 徳間書店

☆表はバナナの皮！



—あらすじ—

主人公＜一海＞はお母さんとふたり暮らし。お父さんは＜一海＞が中学受験を控えた大事な時にリストラにあい、家を出て行ってしまった。

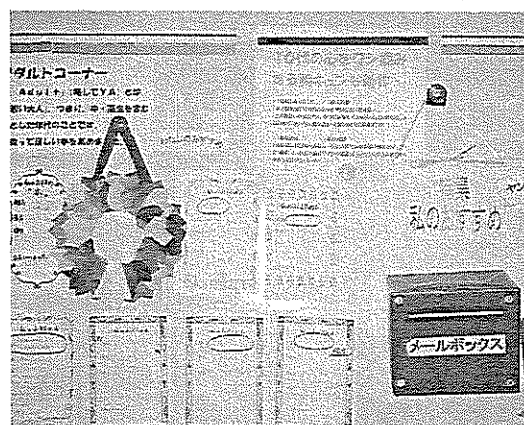
その中学受験に落ちた＜一海＞は「お父さんのようにはなりたくない」と必死で勉強し、高校は有名校に入学できた。

ある時、お母さんが仕事の都合で北海道に転勤になるという。せっかく有名校に入れた＜一海＞はお母さんと一緒に行くかどうか迷う…。

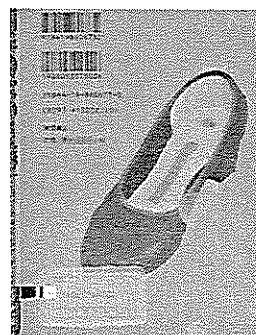
そんな＜一海＞の前にひょっこりとお父さんが帰ってきた。しかも赤いハイヒールを履いて！？

心に届く物語があります！

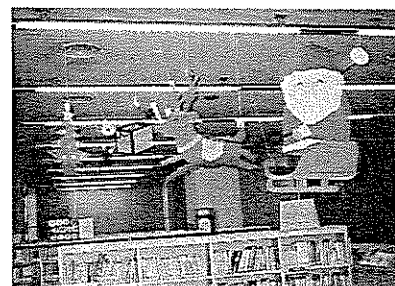
東図書館ヤングアダルトコーナーに設置してある、《おすすめ本メールBOX》利用者から寄せられたおすすめ本を張り付けてあります。



★裏は大きめの赤いハイヒール！



この表紙の意味を知りたい方は、是非、読んでください！



次のページは、おすすめ特集

YA向きおすすめ本

利用者の方からいただいたく私のおすすめ
本>を紹介します！（原文通りです）

『空色勾玉』 荻原規子著

これは勾玉シリーズの第1部で、他に『白馬異伝』『薄紅天女』などがあります。時代は、平安時代前ぐらいです。読むと歴史が好きになる可能性アリです。この人の書いた本も他にたくさんあるので読んでみてください。 <黄色いクマ>

『ぼくをさがしに』 シルヴァスタイン著

いろいろ考えさせられた。足りているような、足りないような、そのまま、いいような。。

自分に何か足りないのではないかな
そう思う君、是非、この本を読んでみて<LOVE 子>

『我利馬の船出』 灰谷健次郎著

中高生の犯罪が増えている今こそ、その年頃の子ども達に読んでもらいたい一冊。

恵まれない環境で育った主人公が今の自分を取りまく環境から逃れるべく船で旅立つ。行き着いた先で出会ったのは言葉も通じない大きな人たちだった。主人公の成長をぜひ自分と重ね合わせて欲しい。<とも>

『やさしいあくま』 なかむらみつる著

絵がかわいい！感動作です！これはホントに良い話。ぜひ、借りてみてください。 <みつる>

『二分間の冒険』 岡田淳著

たった二分間で、すごい冒険だったから。自分も冒険しているようだから。

とてもスリルがあった。 <かいとドラえもんX>

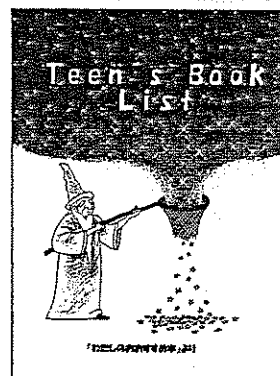
『タイム・リープ』 高畑京一郎著

何度読んでも楽しめます。いや、何度も繰り返して、読んだ方がよいかも？時がくるくる変わるので頭の中で理解しながら読みましょう。自分もタイムリープした気分味わえちゃう。

<李 小鈴>

お知らせ

東図書館ヤングアダルトコーナーでは、みなさんから寄せられた「おすすめ」をまとめた《Teen's Book List》を配布しています。みなさんのおすすめも聞かせてください！！



シリーズ ボランティア紹介（2）

「点訳活動中」

ー1字1字、心をこめてー

前回ご紹介した音訳と併せて図書館が力を入れているのが点訳です。

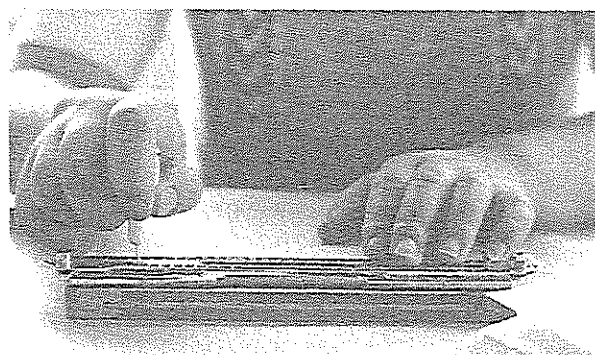
小学校でも、障害者理解の授業の中で点字を取り上げるところが多くなりました。

ビール缶の蓋やシャンプーのボトル、自動販売機など身近な物にも点字が添えられるようになってきました。

これらはほんの数文字分ですが、6つの点の組み合わせで文字が作られ、その組み合わせの工夫で記号まで書くことができる、表音文字の点字で一冊の本を全て点訳するのはとても大変な作業です。

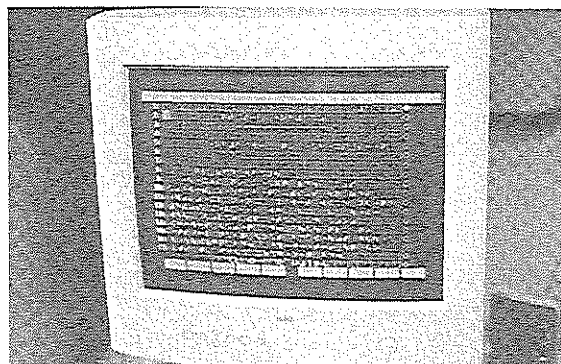
当館では、開館以来続けてこられたベテランの方から、今年始めたばかりの新人さんまで含めて52人のボランティアの皆さんの協力を得て製作を進めています。

このボランティア活動は善意があれば誰にでもできるものではなく、点訳ならではの表記法や文法について1年以上の基礎講習を受け、更に技術の向上を目指して研修を続けながら行うものです。



最近はパソコン点訳が主流になっています。インターネットを利用してデータのやり取りもできるようになりました。

しかしどんなに便利になって方法が変わっても1字1字活字を点字に置き換えるのは、点訳ボランティアの暖かい手と心です。



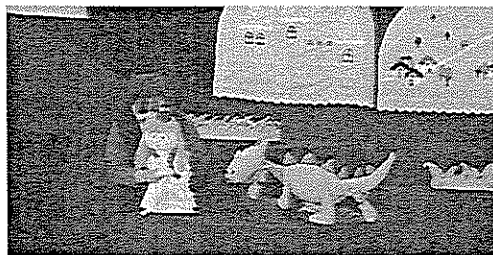
うつのみや 「こども読書フェスティバル2000」 閉幕

一日こども司書

8月8日(火)から10日(木)まで、市立図書館と東図書館において、午前の部は10時から12時まで、午後の部は1時30分から3時30分まで、延べ44人の小学生5・6年生が図書館の仕事を体験しました。資料の貸出や返却・元の場所に返す作業等を行い、大変でしたが楽しい時間を過ごすことができました。

にんぎょうげき公演

11月26日(日)東図書館2階集会室において、「おはなしと人形劇のまごあぐうす」出演による人形劇を公演しました。今回の人形劇「ドラゴンとおひめさま」はシュトルナート作「はずかしがりやのドラゴン」という絵本をもとに創作したそうです。機会があったら読んでみてはいかがでしょうか？人形劇の他に、リズムあそびや、パネルシアターバラエティなども楽しみました。



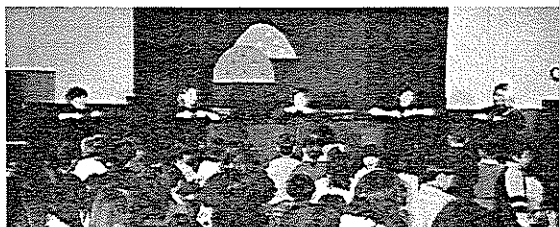
おはなし人形劇

11月25日(土)、市立図書館集会室で「おはなし人形劇」を開催し、たくさんの親子連れが訪れました。

今年は「子ども読書年」にあたり、それを記念して子どもの本を読むきっかけを持ってもらおうと、絵本や児童書を題材にした人形劇を上演しました。

午前、午後の部両方とも「おはなしキャラバンつぼみ座」の協力で行われました。あそび歌から始まり、エプロンを舞台に見立てた劇・エプロンシアターでは「ねずみのよめいり」、人形劇では「三枚のおふだ」などを上演しました。

手作りとはいえ本格的な小道具を使い、歌や手遊びを交えて会場が一体となった楽しい進行に、子どもたちは夢中になって見つめていました。



読書感想画展

—11月1日～31日—

読書感想画とは、読んだ本の感想を絵画に表現することにより、読書への興味を促し、想像力や表現力を養うことを目的にしたものです。

「こども読書フェスティバル2000」にできるだけ多くの子どもたちに参加してもらうため、市内の小学校を通じて各児童に応募票を配布し、夏休みの自由課題として、読書感想画の募集をしました。結果、52の小学校から、1,022枚の力作が集まりました。これらの作品は、地域別に市立図書館、東図書館に分け、1ヶ月の展示期間中、多くの市民の皆さんの目を楽しませてくれました。



集まった作品は、優劣をつけず全て展示しました。これらひとつひとつの作品を見て、絵画としてのインパクトの強さ、表現力の豊かさに驚かされるとともに、読書離れが叫ばれる中、多くの子どもたちが、これだけさまざまな本に親しんでいることがわかり、心強く思いました。



読書感想画展に参加してくださった皆さん、ありがとうございました！！



白石准の「音楽付き童話の世界」

11月25日(土)午後2時から、東コミュニティセンター・ホールに白石准氏率いる山猫合奏団をお迎えして、『音楽付き童話の世界』宮沢賢治原作「どんぐりと山猫」の公演を開催しました。

第一部は、山猫合奏団の楽器パートの方の独奏。トランペット・コントラバス・ファゴット・ヴァイオリン・ピアノ・フルートの調べをたっぷり堪能。

第二部は、「どんぐりと山猫」を、語りと6種類の楽器により、宮沢賢治の童話の世界を、私達の心に届け、描き出してくれました。

300名の聴衆にも、ゆったりとした素敵なひとときを味わっていただけたようです。



点字体験コーナー

11月25日(土)・26日(日)の2日間にわたって、午前10時から午後3時までの間、市立図書館1階ロビーに設けられた点字体験コーナーにおいて点訳ボランティア「あけぼの」の協力のもと、来館者にしおりに名前と住所を打ってもらうという体験をしてもらい、そのしおりを記念として持ち帰ってもらいました。

体験をされた方は、熱心に質問をされたり、実際に打ってみたりしおりを喜んで持ち帰られたりしたようでした。なお、2日間で約150名の参加者があり、特に小学生の参加者が多く、大変好評のうちに終了しました。



落合恵子氏講演会

「午後の居場所で〜子どもと大人 同時代を生きる」

11月28日(火)に文化会館小ホールで開催しました。子どもの本専門店主としての体験から子どもと本の出会いの大切さを語る一方、社会問題に関心を持ち行動する作家として「子どもをよい環境で育てたいなら、子どもと本のことだけを考えるのではなく、子どもをとりまく環境(それは私たち大人も含めて)を見つめ、変えていかなくてはならない。特に大人が子どもから奪った3間(時間・仲間・空間)を取り戻さなくてはならない。」と熱っぽく語られ、約400名の聴衆が、時に涙を流しながら聞き入っていました。



「作って遊ぼう」コーナー

11月26日(日)、市立・東図書館において「作って遊ぼう」コーナーを設置し、身近にある材料を使って簡単な工作をしました。市立では、「きんぎょのたきのぼり」「ぶんぶんごま」、東では「ぱくぱく人形」を作製。各館ともに130名前後の参加がありました。普段の図書館とは違い、笑い声や笑顔が見られる場面もあり、楽しい一日となりました。



親子映画鑑賞会

11月26日(日)うつのみや映画ボランティアさんのご協力により、本でも大変おなじみの「忍たま乱太郎 へムへムを返せ」「宝島」「星の王子さま」などを上映しました。

図書館主催の映画会は初めての試みです。慣れていない為、上映3分前にいきなり部屋を真っ暗にしまい、皆さんを大変驚かせてしまいましたが、上映中は一緒に歌を口ずさむなど、とてもなごやかな雰囲気の中、鑑賞会を終了しました。

万葉集 栄えゆく奈良の都 —その光と影—

10月29日、11月12・19日の3回にわたって、日本古典文学講座を開催しました。

講師には、昨年に引き続き東京経済大学教授の石丸晶子先生をお迎えして、昨年と同様に日本最古の和歌集である「万葉集」をテーマにお話をうかがいました。

毎年好評をいただいている講座だけに、定員60名で受講者を募集したところ、受付開始からわずか2時間で、120名の申込みがありました。

講演の要旨を簡単にご紹介します。

第1回 聖武天皇とその宮廷

奈良の都である平城京について、図を用いて詳しく説明され、万葉の歌により町並みを楽しみ、官僚について解説されたり、貴族の贅沢な生活について話されたりすることで、聖武天皇の時代を語られました。



講師 石丸晶子先生

第2回 大伴家の人々そして女性たち

この回では、大伴家の歴史について家系図にそって話され、また、旅人の歌の解説を詳しくされ、旅人のことを繊細で魅力的な人物であると分析され大伴坂上郎女と旅人の間柄についても言及されました。さらに現在の奈良についても話されました。

第3回 咲く花薫う影で

最終回では、藤原四兄弟と長屋王を中心とした内容となり、権力争いにまきこまれた人々についても詳しく解説されました。また、庶民や下級官僚の貧しい生活ぶりにも触れ、このような人々の歌をしみじみと読まれました。

今年度の日本古典文学講座も、石丸先生の熱のこもったお話と、先生手書きの充実した資料のおかげでほとんど欠席者もなく好評のうちに終了しました。

終了後のアンケートでも、先生のわかりやすい解説に大変満足されたという声が、多く寄せられました。

「親子えほん教室」報告【東図書館】

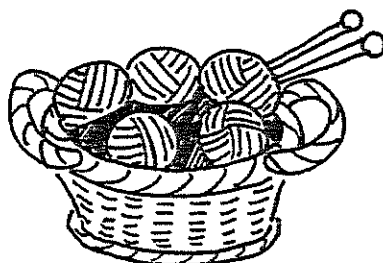
～ママと一緒に絵本の世界へ～

去る10月18日から3回連続で、2歳の子どもと親と一緒に受講する「親子えほん教室」が開催され、25組の親子が楽しい時間を過ごしました。

第1・2回の講師は「子どもの本専門店・ばく」の我妻玲子先生で、2歳児のための基本の絵本や、むかしばなし絵本、ことば遊びの絵本、紙芝居などを、実演を交えてたくさん紹介していただきました。また、わが子のための絵本の選び方や読み聞かせのこつについても、わかりやすくお話してくださいました。

第3回は、保育士で手遊び研究家の市川敦子先生により、工夫をこらした楽しい絵本の読み聞かせや、2歳児のための手遊び・歌遊びを教えてくださいました。

「親子えほん教室」は今年で2年目ですが、親子で参加できる形態が好評で、毎回たくさんの申込みがあります。今後もよりたくさんの方々に参加していただけるよう、続けていきたいと思ひます。



12・1月催物案内

《おはなし会スペシャル》

- ◆日時 12月9日(土) 午後2時～3時
- ◆場所 東図書館 おはなし室
- ◆対象 幼児から小学生
- ◆内容 絵本の読み聞かせ

《冬休みお楽しみ会》

- ◆日時 12月23日(土) 午前11～12時
午後2～3時

- ◆申込み 当日直接会場へ
- ◆内容 人形劇、手品、クイズ、影絵など
- ◆定員 各回とも先着200名
- ◆申込 当日直接、会場へ

《子どもの本の講座》

- ◆日時 第1回 1月21日(日) 午後1:30～3:30
第2回 2月4日(日) 午後1:30～3:30
- ◆場所 東図書館 2階集会室
- ◆対象 保育関係者、学校関係者およびおはなしボランティア
- ◆内容 第1回 絵本についての基礎知識
第2回 読み聞かせの実際
- ◆定員 50名(2回とも参加できる方)
- ◆申込 1月5日(金)より電話または直接東図書館へ
- ◆その他 各自、読み聞かせに使用できる本を1冊選び、申込み時にお伝え下さい。

《おはなし玉手箱スペシャル》

市立図書館では

- ◆日時 1月13日(土) 午後1時30分～3時
- ◆場所 市立図書館 3階集会室

東図書館では

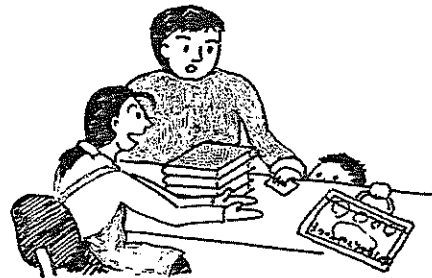
- ◆日時 1月27日(土) 午後2時～3時
- ◆場所 東図書館 2階集会室

小学生から大人の方まで楽しめる「素話」によるおはなし会です。ぜひ来てね!!

～詳しくは、市立図書館へ ☎636-0231～

《第110回落語会》

- ◆日時 1月20日(土) 午後2時～
- ◆場所 市立図書館 3階集会室
- ◆出演 のんき亭喜楽一門会
- ◆入場 無料 直接会場へ
- ◆申込 当日直接、会場へ



12月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

1月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

☐ : 休館日 1月8日成人の日が月曜日にあたるため9日もお休みをいただきます。

利用案内

○開館時間

1. 火曜日～金曜日
午前9時30分～午後7時(児童室は午後6時まで)
2. 土曜日・日曜日・5月5日・11月3日
午前9時30分～午後5時

○休館日

1. 月曜日
2. 国民の祝日・休日(土・日・5月5日・11月3日は開館、ただし月曜日にあたる時は翌日)
3. 年末年始(12月29日～1月3日)
4. 図書整理日(毎月第3木曜日、ただし祝日にあたる時は翌日)
5. 特別整理期間(6月頃10日以内)

としょかん

第115号

平成12年12月1日

編集・発行 宇都宮市立図書館
宇都宮市立東図書館

明保野町7番57号 〒320-0845
今泉町2137番地 〒321-0962

☎636-0231
☎638-5614